



ならっ子だより



奈良には古墳がたくさんあるね！

いろいろな古墳を散策してみよう！



磐之媛命陵（ヒシアゲ古墳）

奈良盆地には大型の前方後円墳がたくさん集まっている地域があります。その一つに、墳丘の全長が200m以上の古墳を持つ日本最大の古墳群、「佐紀盾列古墳群」があります。「磐之媛命陵」もその中の一基です。磐之媛は、仁徳天皇の皇后にあたります。

この古墳群には自転車道が通っていて、走っているとあちらこちらから鳥のさえずりが聞こえてきます。奈良の歴史や自然を感じながら、ゆっくりと散策してみたいかがでしょうか。

◆磐之媛命陵

陵域の規模は、東西約300m、南北約350mの前方後円墳です。明治8年に政府によってヒシアゲ古墳が磐之媛の墓とされました。

磐之媛命陵は、大和と山城を分ける低い佐紀丘陵の南側にあります。その南には水上池、近辺にはウワナベ古墳やコナベ古墳があります。



古墳とは？
 三世紀後半から七世紀後半に絶大な力を持った王や、それに關わる有力者、豪族などの土を高く盛ったお墓です。
 古墳には上から見て丸い形をした「円墳」や四角の「方墳」、円墳と方墳を組み合わせた「前方後円墳」など、さまざまな形があります。
 その中でも、前方後円墳には古いものや大きいものたくさん見られます。

奈良自転車道案内図



◆奈良自転車道

この自転車道は、近鉄奈良駅から法隆寺までの約22kmをつないでいます。磐之媛命陵と水上池の間を通り抜けています。

学校では、「人間尊重の精神を基盤とし、21世紀の世界を自主的・創造的に拓いていく心身ともに、たくましい児童の育成をめざす」を教育目標に、『わが故郷』と考える学校（子どもが輝き、今日が楽しく、明日が待ち遠しい）づくりに取り組んでいます。
 また、地域やPTAが中心となって、「放課後子ども教室」が開かれ、水曜日には自然観察会や工作などが、土曜日にはハイキングや音楽会、野鳥観察会などが開かれています。
 帯解小学校の子どもたちは、自然がまだまだ残る豊かな環境の中で、温かい地域の方々に囲まれて学びを進めています。

学校は、明治7年に今市村地蔵院に「第19番観光舎」として設立されました。校章は奈良では珍しく、「水仙」をかたどっています。校名は、明治20年5月に開校された帯解高等小学校に由来します。翌年に校区六ヶ村が合併して帯解村となり、明治23年には帯解尋常小学校に改称されました。今年で創立139年を迎える歴史と伝統のある学校です。



学校紹介

本校は、明治7年に

帯解小学校の巻

